

上関てくてく散歩シリーズ(7) 室津地区

上関町内各地の魅力的な場所を紹介する「上関てくてく散歩シリーズ」。7回目の今回は、室津地区を紹介しましょう。

古くから海上交通の要衝として栄え、幕末には吉田松陰、高杉晋作、坂本龍馬など多くの志士たちが行き来したとされる港町室津。

近年、大きな埋立地が造られ、温浴施設「鳩子の湯」や道の駅「上関海峡」などがオープンし、少しずつその姿を変えつつあります。一方で、海岸通りから一歩入ると、まだ昔の面影を残した懐かしい町並みも多く残されています。上関町の観光の拠点として、新しい施設と古い町並みをつまく活かしたまちづくりが期待されます。

室津棧橋（定期船乗り場）付近のお店



恵村商店



清水石油店



スーパーいたの



むろつのでんぷら 原田水産



室津棧橋



道の駅「上関海峡」



国指定重要文化財「四階楼」



上関海峡温泉「鳩子の湯」

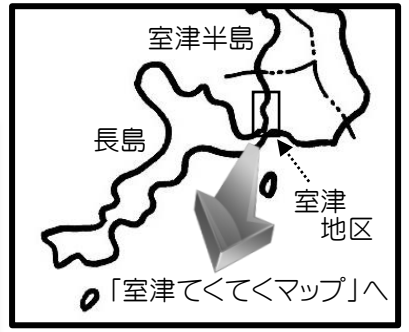
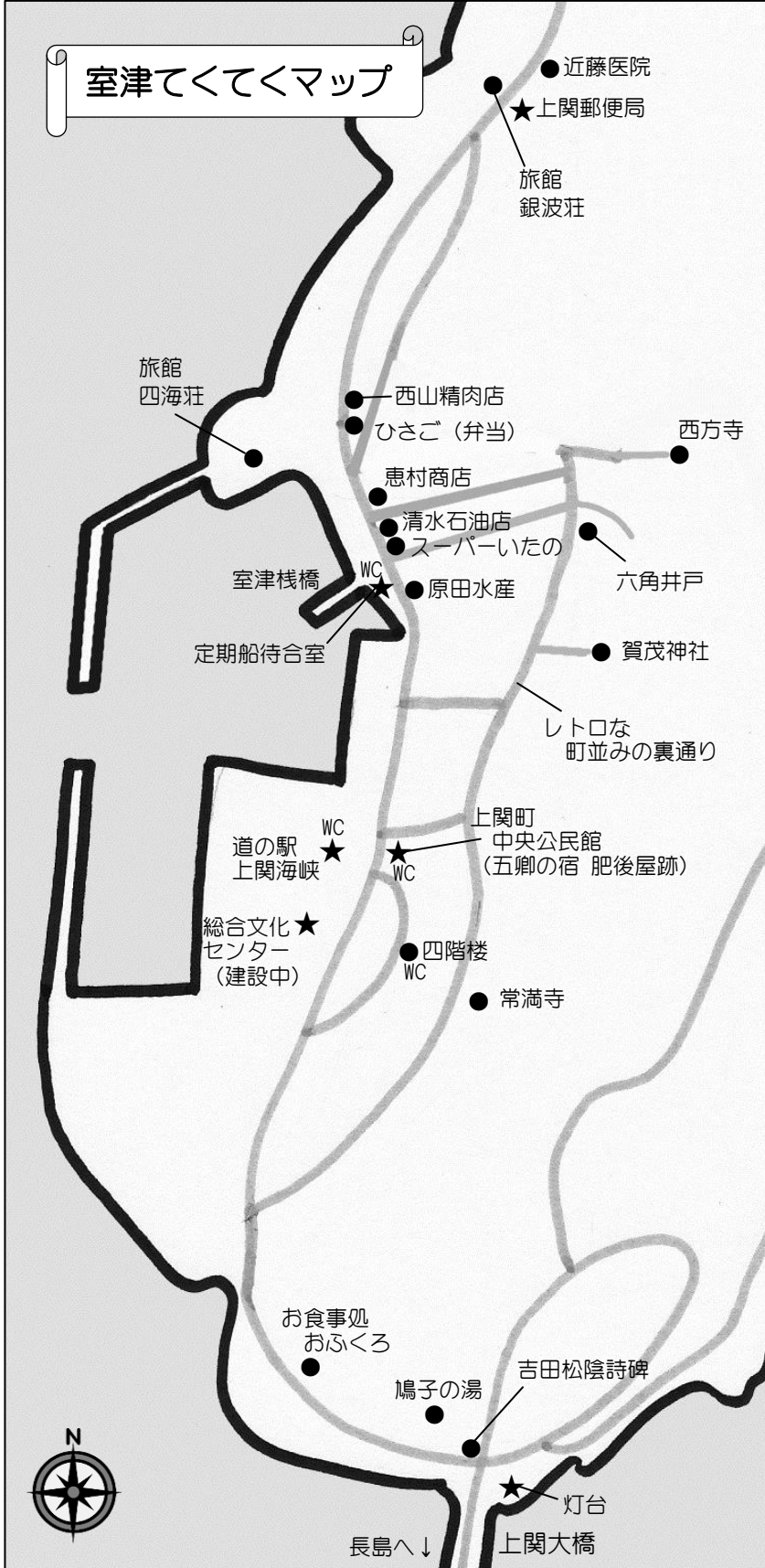
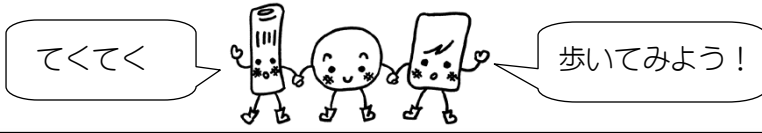


「五卿の宿 肥後屋跡」の石碑



吉田松陰の詩碑

◎「わいわいタイムス」3月号は3月1日(日)発行予定です。



レトロな町並みの裏通り



珍しい六角形の井戸



歴史の古い賀茂神社



天然記念物 常満寺の大イチョウ